

# 疾駆の誓い

## 秋田中央 42年ぶりの花園

上

10月21日、八橋球技場。花園を賭けた県予選準決勝で秋田中央は男鹿工と対戦した。FWが相手の防御を崩せず、前半は0-0で折り返した。終始男鹿工ペースで試合は進み、後半、先制トライを決められた。敗色濃厚になったロスタイム、FB佐藤正章（3年）のトライで追いつきノースサイド。抽選で勝ち上がった。選手に笑顔はなく、古谷和義監督も「完全な負け試合だった」と振り返った。

しかし、一度は死んだ身の開き直りが、6日後、秋田工との決勝で力を爆発させる原動力になった。

前半はPG1本ずつで3-1。後半、秋田中央の展開ラグビーがフル回転する。WT鈴木智裕選手（2年）が勝ち越しトライを決め、流れを



雨中、実戦形式の練習に汗を流す秋田中央フィフティーン

間はわずか1週間になっていった。しかし、チームは国体でハッディだけを背負ったわけではなかった。国体チームの練習場がたまたま秋田中央のグラウンドだったため、日ごろからハイレベルな国体チームを意識しながら練習に取り組めた。試合形式の練習では相手も務めた。「オール秋田相手に、どう戦えばうちのラグビーができるか研究したのは、いい経験になった」（鈴木選手）。残留組も、得難い経験を手にしていた。県予選までの短い時間も集中力を高める効果をもたらした。走るラグビーは一戦ごとに力を増し、打倒秋田工に結実した。

代表決定後、11月には宮城に遠征し、強豪・仙台育英と

は昨年、秋田が初戦で破った相手だが、古谷監督は「昨年は体格の大きい選手が軸だったが、今年はよく走るチームらしい。FWのプレッシャーがカギ」と分析。選手がけがをしないよう注意しながら、慎重に仕上げを進めている。吉田主将はいつもミサンガを持ち歩いている。抽選勝ちした男鹿工との準決勝の後、「俺たちの分まで、花園に行ってくれ」と、相手のFW木村優太選手（3年）にお守り代わりに託されたものだ。2人は国体チームでFWの中核を担った仲。花園ではそのミサンガを付け「男鹿工の分も力いっぱい戦う」。そう心に決めている。【野原寛史】

# 走るラグビー一戦ごとに力

3。後半、秋田中央の展開ラグビーがフル回転する。WT鈴木智裕選手（2年）が勝ち越しトライを決め、流れを

5月の中央地区総体、6月の全県総体はいずれも決勝で

の合同練習や試合をこなした。花園での目標は、まず初戦突破。対戦する秋工・秋商工

東大阪市の近鉄花園ラグビー場で27日に開幕する第87回全国高校ラグビー大会（毎日新聞社など主催）に42年ぶりに出場する秋田中央高。秋工・秋商工（山口）との1回戦は3日後に迫った。晴れ舞台での活躍に胸を高鳴らせる選手とOBらの姿を追った。

# 疾駆の誓い

## 秋田中央 42年ぶりの花園

下

前回、秋田中央が花園にコマを進めた1965年、校名はまだ秋田市立高校だった。「私にとっては、あの一瞬が一生なんですよ」。主将としてチームを率いた金義悦さん（60）＝県ラグビー協会理事長＝は語る。

前年64年に全国制覇するなど当時は秋田工の黄金時代。金さんは副将を務めた内藤徳男さん（60）＝男鹿工ラグビー部監督＝らと共に、「打倒秋田工」だけを胸に、脱走者が続出する厳しい練習に歯を食いしばって耐えた。

体格に勝る秋田工を破るために鍛え上げた伝統の展開ラグビーがスタイル。県大会決勝では内藤さんがトライを決めて秋田を5-0で破り、推薦の秋田工とともに、花園に出場した。5回目の全国大会だった。



目の輝きは42年前と同じ。孫のような選手たちとともに搭乗口に向かう金さん（中央）＝秋田空港で23日午前

芝のグラウンドがなく、花園の芝対策に頭をひねったが、試合会場の第3グラウンドは土のグラウンドだった。1回戦に登場したのは年が明けて66年の元日、相手は福岡高だった。展開ラグビー同士の戦いはわずかに相手が上回り、9-16で敗れた。

意気消沈したが、翌日の毎日新聞を開くと、好勝負をたたえ、秋田市立が去ることを惜しむ記事が金さんの目に飛び込んできた。「自分たちのラグビーは間違っていないから

工に勝った。その意味では母校への恩返しになったし、これも巡り合わせかな」

決勝で秋田中央は会心のゲームで秋田工を倒し、金さんは「長かった。内藤も（秋田工に）勝ったから許してくれらるだろう」とつぶやいた。

秋田空港から23日、大阪に出発したチームの中に金さんの姿もあった。「初出場同然のチームが、少しでも平常心を保てるように」と、行動をともにし、同時に全国から集まるOB約50人、父母ら約100人のまとめ役も務める。

42年前の花園メンバーのうち2人はこの世を去った。「志半ばで亡くなった連中のためにも頑張る」と金さん。28日の1回戦には、内藤さんも駆け付け、スタンドから声援を送る。

初戦は42年前と同じ第3グラウンド。ただし今回は全面芝生張りだ。「普段通りのプレーができれば初戦は勝てる。ここから新しい中央の時代をつくってほしい」。OBらの思いも受け止めて、秋田中央フィフティーンは闘いの舞台に立つ。【野原寛史】

# 新しい中央の時代めざして

「花園は芝だから、勝手が違うらしい」。秋田には当時、

支えた。挑戦をはね返され続けた41年の間に、県大会決勝まで進み、あと一歩で涙をのんだのは12回。うち11回は秋田工に阻まれた。

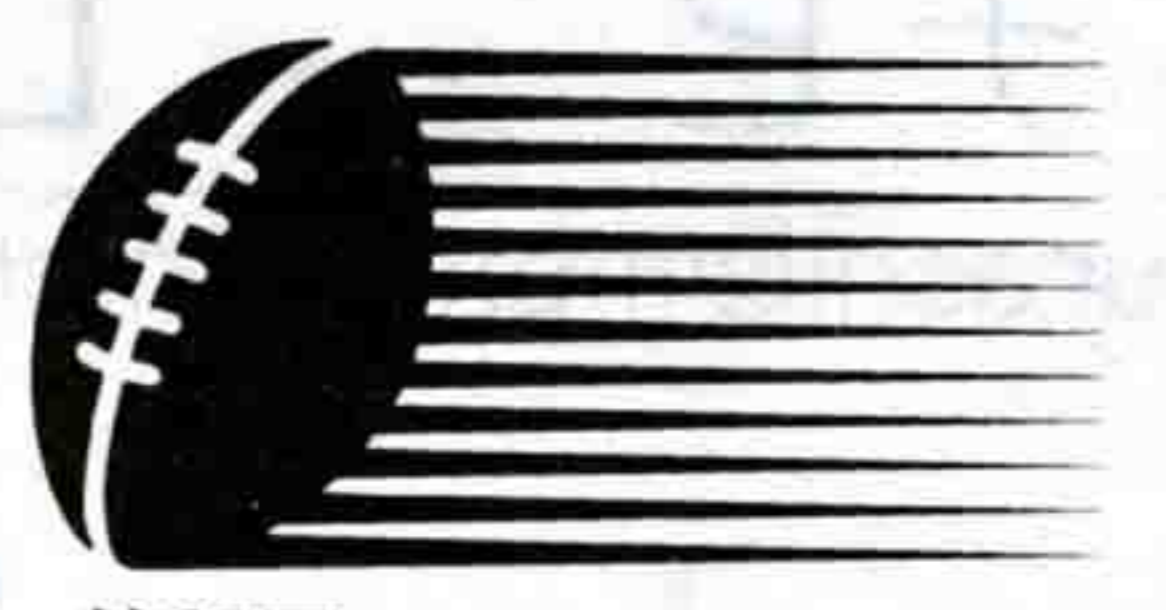
04年の決勝では前半を7-

5とリードしたが後半、秋田工FWに防御を崩され、14-20で逆転負け。主将だった中嶋達也さんは「後半は秋田工の勢いに押された。ディフェンスと気迫で差が出た」と振り返る。

は、ロスタイムの秋田中央の同点トライ、そして抽選の結果、手のひらからこぼれ落ちた。「うちにとっては残念な結果だったが、中央はあの試合を経験して開き直り、秋田

【野原寛史】

27日、東大阪市の近鉄花園ラグビー場で、51校が参加して開幕する。戦力の上では、FWの集散が速く、試合運びに安定感のある桐蔭学園(神奈川)、個々の身体能力が高い東福岡(福岡)がややリード。2連覇を目指す東海大仰星(大阪第一)、上り調子の大分舞鶴(大分)、今春の全国選抜大会優勝の伏見工(京都)なども差はなく、混戦の様相を呈している。



### 第87回 全国高校ラグビー

#### あす開幕

連覇を目指す東海大仰星(大阪第一)、上り調子の大分舞鶴(大分)、今春の全国選抜大会優勝の伏見工(京都)なども差はなく、混戦の様相を呈している。

桐蔭学園は前回4強の経験者が多く、全国選抜は準優勝。主力の大半が出場した国体では優勝した。SO滑川がスピード豊かな連続攻撃を演出。3年連続出場のFB仲宗根を中心に、組織防御も安定している。

## 強豪実力伯仲 混戦の様相

東福岡は、前回準優勝時のメンバーで、WTBから転向したNO8山下昂、WTB正海、FB竹下の高校日本代表トリオが健在。決定力の高さは今大会随一だろう。

伏見工は、春以降やや伸び悩んだが、本来のテンポ良くパスをつなぐ攻撃ラグビーを熟成させれば、上位進出に道が開ける。大黒柱のFB井口の出来が力を握る。

東海大仰星は全国制覇を目指す。3日に再抽選する。

# 伝統校破り42年ぶり



泥にまみれて練習し、古谷監督(右端)の指示を受ける秋田中央の選手たち

## 秋田中央「練習台」悔しさが自信に

薄暗い照明の下、雪が解けて泥だらけのグラウンドで、小気味良くパスが回った。「雪が降るよりました。地面をけて走れますから」。秋田県予選決勝で伝統校・秋田工の分厚い壁を破り、42年ぶりの花園出場を決めた秋田中央。フッカー吉田洋平主将(3年)は「明るい声で話した。前身の秋田市立時代に5回花園へ出場したが、秋田工を予選で破ったのは初めて。全国大会出場61回、優勝15回。共に全国最多の秋田工について、42年前の主将、金義悦・OB会長(60)は「ユニホームを見ただけで、10点、20点の差ができる。秋工はそんな存在でした」と振り返る。

ただ、現役部員に、秋田工への苦手意識は

薄い。中学時代のラグビー仲間も多く、相手の力量は知っており、幻影にはとらわれな。10月27日の県予選決勝では、伝統の強豪FWを前面に出す秋田工に対し、FWが奮闘。後半2分にWTB鈴木智裕(2年)が勝ち越しトライを決めるなど、バックスが快走して30-10で勝った。10月に国体が地元開催されたことも大きかった。秋田工などと共に、秋田中央からも吉田主将ら5人が県選抜に参加し、決勝で神奈川に敗れたものの、堂々の準優勝。高校日本代表との練習試合など、高レベルの経験が財産になった。効果は選抜メンバーだけにとどまらない。4月に始まった県選抜の練習で、秋田中央がグラウンドを提供し、部員が練習台を務めた。ハイパントを捕る練習を求められれば、ひたすらキックをけり続け、アタック練習ではタックルに明け暮れた。当初は、士気が上がらなかつた。主力不在のチームをまとめたSH鈴木(3年)は「やる気は出ないし、嫌で、悔しかった」。腐りかけた選手たちに古谷和義監督(38)は「逆にお前たちが国体チームを練習台にしてみろ」とハッパをかけた。意識を変えて練習を重ねるうち、バックスは県選抜の防御を破り始めた。悔しさが自信へと変わった。「42年の重みを感じ、歴史に名前を刻みたい」。吉田主将は28日、花園第3グラウンドで思いをぶつけた。【井沢真、写真も】

## 新スクラムへの対応力ギ

24年ぶりに組み方が変わったスクラムへの対応も勝利のカギを握る。FW前5人が当たった後で後ろ3人が加わる高専・高校以下の国内特別ルールから、FW8人が同時に当たる国際ルールに変更。都道府県予選で体験した花園出場校の選手、監督に新スクラムの感想を聞いた。

FWのスタミナに自信を持つ大阪朝鮮(大阪第2)の呉英吉監督は「8人でプレッシャーを与え続けられ、後半の残り10分、15分でポディープローが効いて、足が止まる可能性がある」と好意的だ。2連覇を目指す東海大仰星(大阪第1)は、以前から国際大会に参加していたため、順応しやすかったという。主将のブロップ、佐々木直哉(3年)は「違和感はないし、

### 5人+3人→8人同時

でスクラムの核となるブロップの負担も大きい。優勝候補の一つ、桐蔭学園(神奈川)のプロップ、横谷大祐(3年)は「衝撃が全然違う。当たるタイミングも、今まで以上にロックと気持ちは合わせて固まっていけない」と対策を練る。

Table with 2 columns: Date (30日, 1日) and Time slots (e.g., 15:15, 10:30, 14:00, etc.) listing various schools and their match times.

試合テンポアップ／衝撃大きく スクラムのルール改正 高専・高校以下のスクラムは、花園では63回大会(83年度)からブロップ、フッカー、ロックの前5人が当たった後で、フランカー、NO8の計3人が加わる2段階方式を採用してきた。首や肩にかかる衝撃を和らげ、重傷事故を防ぐ狙いがあった。ただ、大学・社会人では8人同時方式を採用しており、国際ラグビー機構(IRB)も「姿勢が正しければ、8人同時に当たる方が安全」と指摘。日本でも高校年代から国際ルールに基づく競技力向上を図るため、今年4月に全国高校体育連盟ラグビー専門部が改正を決め、国体予選から採用している。

古谷和義監督は「実力差がある学校同士での対戦では、危険だと感じた」と指摘する。FW第1列の一方、秋田中央(秋田)の古谷和義監督は「実力差がある学校同士での対戦では、危険だと感じた」と指摘する。FW第1列

# 秋田中央 闘志高め あこがれの花園 芝を力強く行進



開会式

きょう萩工・萩商工と対戦

## 自分たちのラグビーを

第87回全国高校ラグビーフットボール大会

(毎日新聞社など主催)が27日、東大阪市の近鉄花園ラグビー場で開幕。42年ぶり6回目出場場の秋田中央は、開会式でピンクと黒のシャシー姿で、全国の強豪校とともに力強く行進。あこがれの花園の芝を踏みしめた。

ラウンドで軽い練習に汗を流した。古谷和義監督は「いよいよ始まるなどという感じ。明日

はほとんどボールを回していきたい」、吉田洋平主将は「開会式は少し緊張したけど楽しかった。明日は自分たちのラグビーをやるだけ」と闘志を高めていた。

【野原寛史】

市によると、金融機関などからの借入金(元金残、今月20日現在)は88884万円、08年2月末日までに総額9412万4000円の支払い不足(負債)が生じる見込み。

開会式後、秋田中央の選手らは28日の萩工・萩商工(山口)との1回戦に備え、奈良県生駒市の大阪産業大グ

横手市の五十嵐忠悦市長は27日の記者会見で、多額の負債を抱え経営が行き詰まった第三セクター「横手産業

支援センター」(9月30日解散)について、公費を投入し清算・処理する方針を明らかにした。精算業務に関し、市は26日の市議会全員協議会で経過を報告。来年2月上旬に臨時議会を開き、補助金名目の補正予算案を提案す

と話す。



堂々と入場行進する秋田中央の選手たち―近鉄花園ラグビー場で27日、内藤絵美撮影

## 28年ぶりにレフェリー

秋田市職員 藤原さん



秋田中央の選手らと同じように、開幕を心待ちにしていたのが、秋田市職員の藤原守さん(33)の写真。県から28年ぶりにレフェリーとして参加し、30日の2回戦で日川(山梨)・江の川(島根)の勝者と流通経大柏(千葉)の試合で笛を吹く。大

## 「安全で正当な判定を」

変名着なこと。円滑な試合の流れをつくりたい」と晴れ舞台での抱負を語る。

藤原さんは高校時代、秋田高でCTBとして活躍。秋田わか杉国体に向け若手レフェリー育成を図っていた。県ラグビー協会から98年、審判資格取得を打診され、「好きなラグビーに恩返しをした」と資格を取った。始めた当初は、選手時代とは違うポジションなどなどで苦労したと

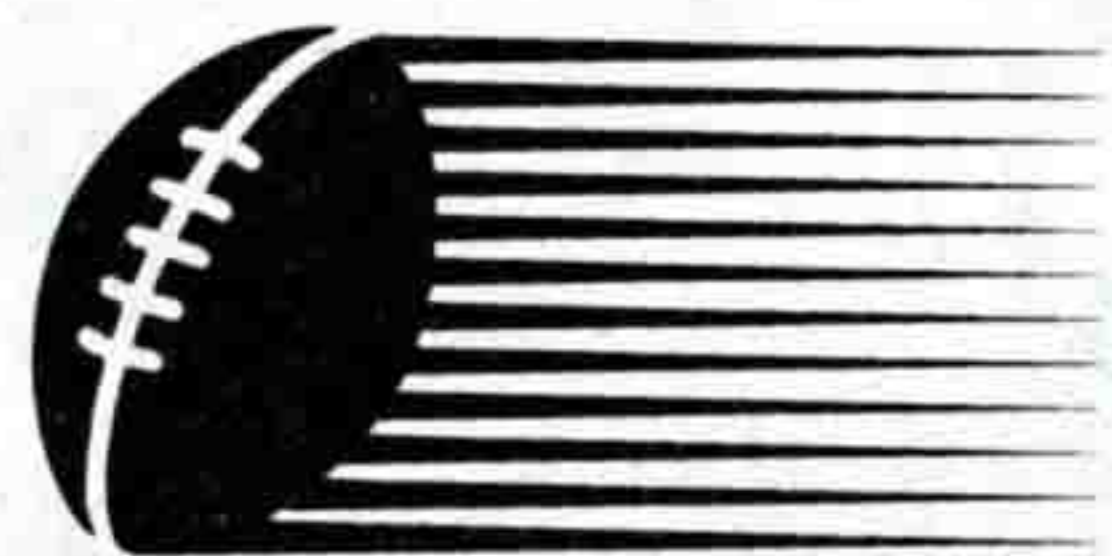
今年わか杉国体の少年男子の試合などでレフェリーを務め、国内の全試合を担当できるA2級の資格も取得。実績を評価され、念願の花園の舞台に立つことが決まった。花園には過去に2度、母校の応援で訪れているが、今度もあこがれの聖地だ。「硬くならず、安全で正当な判定をしたい」と話す。

【野原寛史】

五行易

好評の通信講座  
無料急送  
くわしい案内資料  
ハガキ・電話・FAXで！  
〒112-0012 東京都文京区大塚5-6-15 Yビル5F  
日本易学センターY.A係  
お電話・FAXでも受付中！  
033339451200  
033339456000  
FAX 033339456000

# FW戦で秋田中央



第87回  
全国高校ラグビー

主催  
毎日新聞社 日本ラグビー協会  
全国高等学校体育連盟  
大阪府 大阪府教育委員会  
特別協賛  
神戸製鋼グループ 毎日放送

第2日(花園・28日)

1回戦の残り1試合が行われた。前回8強の正智深谷(埼玉)は、逆転で関西学院(兵庫)を降して花園20勝目を挙げた。札幌山の手(北海道)と北見北斗(北海道)がともに勝ち、5大会ぶりに北海道勢がそろって2回戦に駒を進めた。倉吉東(鳥取)は札幌山の手に敗れ、鳥取県勢は8大会連続の初戦敗退。秋田中央(秋田)は、秋田市立時代の第41回大会以来となる1回戦突破を果たした。今大会唯一の初出場校・北条(愛媛)は本郷(東京第2)に敗れた。第3日は30日に2回戦16試合を行い、シード勢13校が登場する。

# 46大会ぶりの1勝

秋工・萩商工(山口)反9  
10005.....10005  
TGPDP前.....TGPDP後  
320019.....200010  
秋田中央(秋田) 反4  
29計10

▽主審 白井健三

ともに展開ラグビーが身上市だが天候は雨。ボールも足元も滑る。試合後、両監督が口をそろえた勝負の分かれ目は、FW戦。「縁の

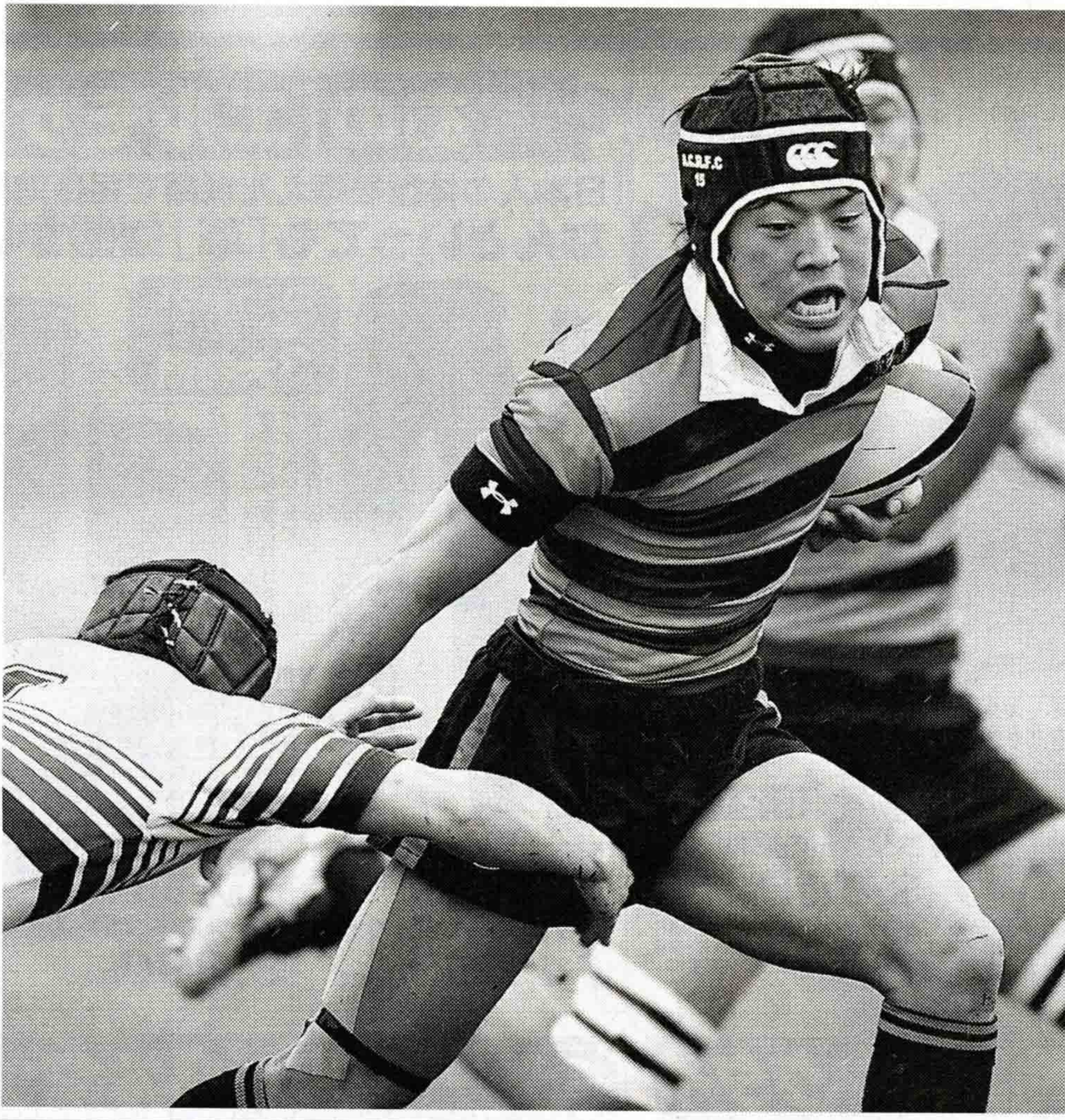
下の力持ち」が踏ん張り、秋田中央が46大会ぶりの勝利を飾った。開始からキックの応酬。互いに相手のミス

を誘う狙いだが、前半9分、秋工・萩商工に自陣深く入られ、CTB藤沢に先制トライを許した。ここから秋田中央のFWが存在感を

示す。10分過ぎ、相手陣ラインアウトでボールをキープ。22分ライオン付近の攻防が続いたが、密集の集散でまさ

だに「体格は相手の方が押し出た」とSH鈴木中央。FWの優位が早い球出しを可能にし、安定したパスを呼んだ。

15分にCTB谷、18分にはFB佐藤正がトライ。さらに28分、ライオンアウトからモールを約15分押し込むトライで主導権を握った。「FWがリードしたから、バックスも楽だったはず」と古谷監督。反則が四つと少なかつたことが、安定したポ



【秋田中央―萩工・萩商工】前半16分、秋田中央のFB佐藤正が相手タックルをハンドオフでかわして突進。内藤絵美撮影

◇第2日の結果◇

札幌山の手	56	5	倉吉東
北見北斗	42	10	土佐塾
若狭	14	0	山形中央
日本航空三	34	8	城川
江の川	6	0	日川
高鍋	43	7	富山
本郷	44	14	北条
関西学院	24	10	荒尾
秋田中央	29	10	萩工
青森北	69	3	高松北
正智深谷	29	7	関西学院

▽HB 吉田、岡  
武田根祐亮 尾山健 岡沢藤村 谷村根  
阿坂岸田山田平田長藤加中大

【秋工・萩商工】  
秋田中央 F T B F B  
代洋田楓 祐克 康田智 山木正  
田田藤藤 木谷 夕藤  
滝吉鎌八吉佐佐浜鈴 関佐佐

▽HB 鈴木央、奈良  
▽入れ替え【秋】高橋(佐藤康) 畠山航(関山)【秋】三戸(中村) 光谷(平山) 岡崎(長岡) 矢次(岡)

## 北海道2校

土佐塾(高知)反10  
00000.....00000  
TGPDP前.....TGPDP後  
400020.....410022  
北見北斗(北海道)反4  
29計0

▽主審 田中義人

攻守とも良く零封

○:開始早々、ラインアウトからモールを押し込んでトライを奪い、北見北斗が波に乗る。計8トライで土佐

# 展開ラグビーで圧倒

## 2回戦はあす、青森北と



東大阪市の近鉄花園ラグビー場で開かれている第87回全国高校ラグビーフットボール大会（毎日新聞社など主催）第2日の28日、県代表の秋田中央は萩工・萩商工（山口）と対戦。得意の展開ラグビーで圧倒し、29-10で2回戦進出を決めた。秋田中央は大会第3日の30日、青森北（青森）と3回戦進出をかけて対戦する。

【野原寛史】



【秋田中央―萩工・萩商工】前半28分、秋田中央がモールで攻め込み、N O 8浜田が右中間にトライ―近鉄花園ラグビー場で、内藤絵美撮影

冷たい雨が降りしきるなかキックオフ。秋田中央は序盤やや動きが硬く、ハンドリングミスも目立った。前半9分、ラックから相手CTBにボールが渡ると、簡単に防御線を突破され先制を許す。しかし、この洗礼で目が覚めたように、中央の動きがよくなった。「雨でミスが出ても、自分たちの展開ラグビーをやるう」（吉田洋

萩工・萩商工	反9
10005	10005
TGPD前	TGPD後
320019	200010
秋田中央	反4
	29計10

平主将）と焦らず敵陣に攻め込み、前半15分にラックからCTB谷直哉選手（2年）がトライ。ゴールも決まり勝ち越した。勢いづいた秋田中央は、18分にFB佐藤正章選手（3年）、28分にN O 8浜田勇毅選手（3年）がトライするなど、前半で19-5と差を広げた。後半も2トライで突

次は持ち味発揮を古谷和義・秋田中央監督の話 前半は緊張でもつれると思ったが、リードした後は落ち着いた。FWがセットプレーを決められたのも大きかった。ディフェンスが悪すぎたので、修正し次はもっと持ち味を発揮したい。

シードに挑みたい吉田洋平・秋田中央主将の話 先制されても落ち着こうと心がけ、同点トライで行けると思った。1勝できたのはうれしいが、ディフェンスの課題もあり、まだ5割くらい。次も勝ってシード校に挑みたい。

を挙げ、気を引き締め直していた。後輩たちに声援を。○：「行け、押せ、中央！」。42年ぶりに花園に立つ母校の選手らを応援しようと、秋

チームに恩がえし○：「やっとチームに恩返しできました。先制されて相手ペースになりかけた流れを、同点トライで引き戻したCTB谷直哉選手（2年）＝写真。今年7月、練習中に右鎖骨

を折り、復帰できたのは県予選準決勝の男鹿工戦。実戦から遠ざかっていた約3カ月間は「ラグビーをしたい。チームの役に立ちたい」と思い続けていたという。復帰後の公式戦初トライに「うれしいです」と笑顔がこぼれた。一方で「今日はディフェンスが悪かったので、50点ぐらい」と、自己採点は厳しい。2回戦に向けての課題にディフェンス面の修正

田中央のスタンドには父母、OBら約200人が詰めかけた。SH鈴木央選手（3年）の兄鈴木巨さん（21）らラグビー部OB7人は学校からジャージを借りてスタンド最前列に陣取った。写真。必死にプレーする後輩たちに声援を送り続け、チームが得点するたびにスタンドを盛り上げた。



鈴木さんは弟のプレーを「普段よりいい動きをしている。本番に強いから」と太鼓判。ノーサイド後、選手たちがあいさつに駆け寄った際には、惜しみない拍手を送っていた。



# 最後まで全カプレー

秋田中央

青森北に惜敗

## 後半に逆転も……

### スタンドから温かい拍手

東大阪市の近鉄花園ラグビー場で熱戦が続く第87回全国高校ラグビーフットボール大会(毎日新聞社など主催)は第3日の30日、2回戦があり、秋田中央は青森北と対戦。後半に一度はリードを奪ったものの、その後逆転を許し、10-26で敗退した。最後まで全カプレーで挑み続けた秋田中央フィフティーンに、スタンドからは健闘をたたえる拍手が送られた。

【野原寛史】



【青森北・秋田中央】前半終了間際、ラインアウトのボールを奪い合う秋田中央の選手たち—近鉄花園ラグビー場で30日、内藤絵美撮影

キックオフ直後、大会最重量級FWを擁する青森北を相手に秋田中央FW陣は押し負けない。プロップの吉田洋平主将(3年)は「相手は大きいが、戦える」と実感していた。前半16分に先制されたが、

秋田中央	反6
10005	10005
TGPD前	TGPD後
11007	32009
青森北	反9
	26計10

#### 秋田中央・NO8

#### 浜田 勇毅選手(3年)

NO8としてFWをまとめ、約10<sup>kg</sup>の体重差がある青森北FW陣に立ち向かった。1回戦では2トライを決め、この日も「中央がバックスだけのチームでないことを見せたい」と意気込んでいた。

#### トライは「練習の成果」

実際にぶつかると「重い。でも押せる」と感じた。重量FWとの戦いは、秋田工、男鹿工とぶつかり経験済みだった。後半2分に自らが決めたトライは「練習の成果と思う」。

流れをつかみかけた



「重い。でも押せる」と感じた。重量FWとの戦いは、秋田工、男鹿工とぶつかり経験済みだった。後半2分に自らが決めたトライは「練習の成果と思う」。

【野原寛史】

いいゲームだった。古谷和義・秋田中央監督 同じ東北のチームに負けたのは悔しい。FWは健闘したが、プレッシャーでトライを取り急いだり、ミスも出てしまった。選手たちはいいゲームをしてくれたと思う。

負けたのは悔しい。吉田洋平・秋田中央主将の話。FWもバックスもよく戦ったが、反則やミスから流れを与えてしまった。負け残念だが、花園での2試合で、自分たちのラグビーを全国に示せたと思う。

なタックルに阻まれ得点できない。相手に流れが移り、19分、25分と追加点を許した。ノーサイド。最後まで反撃をあきらめなかった選手らに、スタンドは温かかった。「よくやった」「頑張ったぞ」。ねぎらいの言葉と拍手に送られ、涙を流しながら選手らはグラウンドを去った。

28分にはラックからボールをつなぎ、CTB関山歩麻選手(3年)が「前が空いてる。行ける」と相手の防御のすきを突いてトライ。追撃ムードで前半を終える。

FW勝負にこだわる選手たちに注意を促した。後半開始2分、秋田中央はラインアウトからのモールを押し込みNO8浜田勇毅選手(3年)が逆転トライ。9分に再逆転を許したが、その後も積極的に敵陣で攻め続けた。

しかし、相手の執拗なタックルに阻まれ得点できない。相手に流れが移り、19分、25分と追加点を許した。ノーサイド。最後まで反撃をあきらめなかった選手らに、スタンドは温かかった。「よくやった」「頑張ったぞ」。ねぎらいの言葉と拍手に送られ、涙を流しながら選手らはグラウンドを去った。

あすのこよみ

1月1日 旧 11月23日 <先負> 月齢 22.4 秋田標準

数字は(上)最高気温(下)は正午の風向き。

週間天気

2日(水) 2-10 晴

3日(木) 4-10 晴

沿岸 20 6時 9時 12時

きょう 時々 のち

天

「これだけ戦ったんだ、胸張って秋田に帰ろうぜ」と呼び掛けた。3年生が1人ずつ言葉を述べ、吉田洋平主将が最後に「このメンバーで花園に来れたことが

秋田県産りんごを、使ったパイ

かおる堂

http://www.kaorudo.jp

人生の誇りだ。1、2年生は来年借りを返してくれ。絶対に応援に来るから」と涙ながらに話した。選手、コーチらは抱き合って健闘をたたえ合い、何度も感謝の言葉を掛け合っていた。

# でっかいかい 勇気 頑張り見せた

大阪・近鉄花園ラグビー場で開かれていた全国高校ラグビー大会2回戦で30日、県代表の秋田中央が、青森北に10-26で敗れた。しかし身長155センチの佐藤克俊選手(3年)の果敢なタックルに、「あいつが頑張るとおれたちも頑張れる」とチームは一丸になった。

佐藤選手は、格闘家ポブサップにあこがれ筋トシをはじめた小学6年のころから、身長伸びが止まったという。ただ1日1000回の腕立て伏せ、腹筋、背筋を欠かさず、いまではベンチプレス



大柄な相手選手にもひるまず、タックルをする佐藤克俊選手＝大阪府の近鉄花園ラグビー場で

ス95キを上げるチーム1の力持ちになった。左フランカーで、相手エースの動きを止めることが主な役割だ。古谷和義監督は「身長が低すぎてラインアウトでの起用が難しいが、相手の足元に飛び込む勇気がすごい」。

青森北はFW前5人の平均体重が1000キを超える。佐藤選手がマークしたのは身長185センチのFW安達陽介選手だ。前半17分、佐藤選手の顔に相手のひざがぶつかり、鼻血を出し、一時退場。それでも、すぐにグラウンドに駆け戻った。

「小さいあいつががんばるとチームが勇気づけられる」と吉田洋平主将。秋田中央FW陣は、重量級の相手にスクラムで五分に渡り合い、後半2分には力勝負のモールで逆転トライを決めた。

秋田中央は再逆転を許し惜敗した。安達選手は

佐藤選手について「視界から消えるタックルでやりにくかった」と振り返った。

佐藤選手は試合終了の笛が鳴ると、空を見上げて満足そうだった。「ラグビーをはじめたころは大きな選手にはじき飛ばされてばかりいた。あきらめかけたが、こうして『花園』でプレーできた。小さくてもできることを証明できた」

## 通常国会から 民主系会派入り

松浦参院議員  
7月の参院選で初当選

した松浦大悟参院議員は無所属の民主系会派入りについて、松浦氏を推薦した民主県連と社民県連合、連合秋田、鈴木陽



激安に来客1万人

秋田市民市場

暮れ模様

大柄なラグーマンたちの中で、小柄な佐藤克俊選手は鼻血を出しながらも奮闘した。大阪府の近鉄花園ラグビー場で、矢島大輔撮影



## 「チビッコの星」だ

第87回全国高校ラグビー大会2回戦で30日、身長155センチ、体重60キログラムのFW佐藤克俊選手を擁する秋田中央が、平均体重93.5キログラムの大会最重量FWを誇る青森北と対戦した。

佐藤選手は左フランカー。登録選手

秋田中央・佐藤選手  
全国高校ラグビー

中、最小の体をいかし、体をかがめた姿勢から相手のひざ下に飛びついてボールを奪った。秋田中央を42年ぶりに全国大会に導いた、大柄選手を恐れないタックルだ。

試合には敗れた。しかし佐藤選手は鼻血を出した顔を緩ませた。「全国のチビッコに夢を与えられたかな」

## 亥年、幕切れも猛進

都立で56年ぶり

三鷹が初戦突破

全国高校サッカー

30日に開幕したサッカー男子の全国高校選手権で、東京都B代表の都立三鷹高が開幕戦で高知中央高に3-1で勝ち、1951年度の都立大泉高以来、都立高として56年ぶりに初戦を突破した。

初出場のうえ、国立競技場で開かれる開幕戦に試合序盤、選手たちは「予想通り舞い上がってしまった」（山下正人監督）。だが、地元応援団に支えられて先制を許してもあきらめず、FW白井豪選手（3年）の2得点などで逆転した。

山下監督は「また（準決勝に進出して）国立に戻ってくるなんて絶対無理。でも、（初戦勝利という）目標を達成できた」と喜んだ。